

第42回 全日本中国語スピーチコンテスト三重県大会

今年も三重大学にて全日本中国語スピーチコンテスト三重県大会を開催します。本大会は（公社）日本中国友好協会が主催する「全日本中国語スピーチコンテスト」への三重県推薦者を決定とともに、日頃の中国語学習の成果を発表し、学習者同士や中国人留学生との交流の場として、毎年、多くの方が参加されています。

賞金や賞品も昨年同様ご用意しております。皆様のご参加をお待ちしております。

実施日時：2024年10月20日（日）13：30～

**実施場所：三重大学生物資源学部大講義室 ※別紙案内図参照
（津市栗真町屋町 1577）**

参加費：無料

申込締切：2024年9月24日（火）必着

観覧希望の方は事前申し込みをお願いします

新型コロナウイルス感染状況により、開催方法の変更や中止となる場合があります。その際は当協会 HP 上でお知らせいたしますので、ご了承ください。

主催：特定非営利活動法人三重県日本中国友好協会

後援：（申請中）中華人民共和国駐名古屋総領事館、三重県、津市、公益財団法人
三重県国際交流財団、津市国際交流協会

協賛：情報システム・J・T株式会社、中華名菜館瑞福祥、中国食彩溪泉

第42回全日本中国語スピーチコンテスト三重県大会 大会要項

	スピーチ部門	朗読部門
部門	①高校生部門 ②大学生部門 ③一般部門	朗読部門内では部を設けず、年齢に関係なく中国語初心者を対象とした、ひとつの課題文での発表となります
予選	(実施しません)	エントリー者数が 10名以上 の場合は、ZOOMによる一次審査を行う予定です。締切後、一次審査の実施についてご連絡します
参加資格	県内に在住または通勤通学し、中国語を学んでいる方。但し中国語を母語とする方は除く。※全日本大会出場資格がない場合は、全日本大会には推薦しない	県内に在住または通勤し、 全日本中国語スピーチコンテスト朗読部門に出場資格が有る人に限る。 <u>出場資格のない人はスピーチ部門または第1回日中未来への扉in三重大会へご出場ください。</u> 次ページに全国大会朗読部門の出場資格を明記しています
審査基準	①正確な発音で流暢かつ豊かな口頭表現ができているか（歌などのパフォーマンスは不可） ②テーマに沿った内容で適切な中国語による論旨明晰な文章表現か ③内容を把握しており、質問に対して適切に答えられるか ※原則として原稿は見ないこと	発音、イントネーションが正確かつ流暢であるか ※朗読中、課題文を見ることは構わない
内容	テーマは自由（5分以内）、審査員による質疑応答 (第41回全国大会入賞テーマ)(一般部門) 「中国の方言の魅力:表情豊かな中国文化」「結婚と国際交流」 「娘は母親にとって心をぽかぽかと温めてくれる『どてら』のようなものだ」	全日本中国語スピーチコンテスト朗読発表会課題を朗読
表彰(予定)	【三重県日中友好協会会長賞】賞金3万円 日中友情サポーター交流旅行にご招待 【名古屋総領事賞】賞金2万円 【三重県知事賞】賞金2万円 【中国名菜館 瑞福祥賞】 【中国食彩 湊泉賞】 【三重皇輝かぐや賞】	【金賞】【銀賞】【銅賞】
全国推薦	スピーチ部門より1名、朗読部門より1名を全国大会出場者として推薦。但し審査員が協議の上で推薦するか否かを決定する。(全国大会出場者の東京までの往復旅費は、スピーチ部門は全額、朗読部門は半額をNPO法人三重県日中友好協会が負担する)	
申込み	①中国語原稿、②日本語原稿、③申込用紙を郵送又はメールに添付して三重県日中友好協会まで送付してください。申込用紙についてはHPの申込フォームでも可能です	申込用紙を郵送又はメールに添付して三重県日中友好協会まで送付、またはHPの申込フォームからお申し込みください
問合せ・申込	締め切り：9月24日(火) 必着 特定非営利活動法人三重県日本中国友好協会 〒514-0031 三重県津市北丸之内202 TEL:059-227-0470/FAX:059-224-4311 E-mail:jimukyoku@jcfa-mie.jp 申込用紙(Excel)は下記の当協会HPよりダウンロード可能です。申込フォームから送信することもできます。「三重日中」でご検索下さい http://www.jcfa-mie.jp/	

観覧希望の方も大会冊子を用意する都合がありますので、事前に観覧申込のご協力をお願いします。

第42回全日本中国語スピーチコンテスト 開催要項

主催：公益社団法人 日本中国友好協会

日時：2025年1月12日(日) 会場：東京飯田橋日中友好会館地下大ホール

	スピーチコンテスト	中国語朗読発表会
出場者数	「大学生部門」10名程度 「高校生部門」「一般部門」各6名程度	入賞者3名
表彰	<ul style="list-style-type: none"> 審査員の判定会議により入賞者を決定(「大学生部門」第1位～6位、「高校生部門」「一般部門」第1位～3位) 第1位～3位には後援・協力団体賞等を授与する(「外務大臣賞」、「日中友好協会賞」、「文部科学大臣賞」など ※予定) 全出場者の中から「日中友好協会会長賞」を選ぶ 	最優秀1名、優秀2名 全国大会での朗読発表は最優秀者1名。優秀者2名には優秀賞の賞状を別途郵送する。

参加資格 (朗読部門の参加資格は三重県大会と共通です)

各都道府県大会で推薦された方の中から、予め本部の審査員による一次審査(都道府県大会時の音源審査)を行い、全国大会への出場者を決定し、本人と各県協会に通知します。ただし以下のいずれかの条項にあてはまる方は全国大会へ進めませんので予めご了承下さい。

朗読部門	<p>下記の条件に1つでも該当する人は、全日本中国語スピーチコンテスト朗読部門への出場資格がありませんので、<u>三重県大会の朗読部門はエントリー不可</u>となります</p> <ol style="list-style-type: none"> 日本国籍を有しない者 中国語を母語(*注1)とする者 両親のいずれかが中国語を母語とする者 中国語を主に授業を行なっている学校(中華学校など)に在学中の者、在学した者、卒業した者 中国語を日常語とする地域に継続1ヶ月以上滞在(含・留学)(*注2)した経験のある者 業務として中国語を日常的に使用したことのある者、または現在使用している者 高校、大学、専門学校において中国語を専攻している者(過去に専攻していた者も含む)の内で都道府県大会出場時に学習期間2年を超えている者 専攻以外の者(第二外国語、中国語教室等で学習、独学)の内で都道府県大会出場時に学習期間4年を超えている者。<u>ただし、60歳以上で初めて中国語学習を始めた者は学習期間を問わない</u> <p>(60歳以上で初めて中国語学習を始めた人は、学習期間を問わないので、エントリー可能です)</p> <p>*注1 母語とはその者の生活環境において使用されている言語(最初に自然に身につけた言語)</p> <p>*注2 オンライン留学は含まず</p>	
	共通	<ol style="list-style-type: none"> 日本国籍を有しない者 中国語を母語とする者 両親のいずれかが中国語を母語とする者 中国語を主に授業を行っている学校(中華学校など)に在学中の者、在学した者、卒業した者 中国語を日常とする地域に<u>13カ月以上</u>留学または滞在したことのある者 業務として中国語を日常的に使用した事のある者、又は現在使用している者 過去、全国大会において優勝した者
	一般部門	<ol style="list-style-type: none"> <u>2009年4月2日</u>以降に生まれた者(すなわち中学生以下) 大学、大学院、専門学校に在学している者(但し出場時の年齢が30歳以上の場合はこれに限らない)
	大学生部門	<ol style="list-style-type: none"> 日本の大学(含短大・文科省指定の外国大学日本校)、大学院、専門学校、高専4年生以上に在学していない者 出場時の年齢が30歳以上の者(「一般部門」から出場すること)
	高校生部門	日本の高校に在学していない者

※1 専門学校とは「専門士」の資格を与えられる学校を指す※出場資格に疑問のある場合は、主催者側が可否を決定する



- 外国人教師等宿泊施設 Ⅲ-1
- 翠明会館 Ⅱ-1
- 屋内運動場 Ⅲ-2、Ⅳ-2
- 第一体育館 Ⅲ-2、Ⅳ-2
- 第二体育館 Ⅲ-3
- 翠陵会館 Ⅲ-2
- 課外活動共用施設 Ⅳ-2
- 第一食堂 Ⅲ-2
- 第二食堂 Ⅲ-2
- コンビニ Ⅲ-2
- 売店 (翠陵店) Ⅲ-2
- レストラン 「ばせお」(2F) Ⅲ-2
- レストラン 「四橋折々(しまお)」 Ⅲ-3

M 総合研究棟Ⅱ

学生や教職員が利用できる保健管理センターはここにあります

- 1 保健管理センター
- 2 アドミッションセンター
- 3 第1~5会議室
- 11 高等教育デザイン推進機構
- 12 学生総合支援機構
- 13 修学支援センター
- 14 キャリアセンター
- 15 学生生活センター
- 16 学生相談センター
- 17 障害学生支援センター
- 21 国際交流センター
- 22 タイパシディ
- 23 インクルージョン推進室

N 総合研究棟Ⅰ

主に医学部と工学部が利用しています

O 三翠会館

国の登録有形文化財です

P レーモンドホール

国の登録有形文化財です

Q 三翠ホール

大ホールは1,650名です

R 地域イノベーション研究開発拠点Ⅱ

- みえの未来国創機構
- 産学官連携推進部
- 地域共創展開センター
- 地域創発・実証研究センター
- 三重TLO

本学への交通案内

国立大学法人三重大学
企画総務部総務チーム広報室
〒514-8507 津市栗真町屋町1577

近鉄電車「急行」で		近鉄電車「特急」で	
名古屋から	近鉄名古屋駅 約60分	名古屋から	近鉄名古屋駅 約50分
京都・大阪から	伊勢中川駅 約15分	大阪から	大塚原駅 約90分
		京都から	京都駅 約110分
			津 約15分
			バス 約15分
			タクシー 約10分